

CTF - 150 について

CTF - 150 は、Combined Task Force - 150 の略であり、海上阻止活動を行う有志連合の多国籍部隊である。

2001年10月7日の「不朽の自由作戦」開始後まもなく（注）CTF - 150 が設立された。

（注）米海軍HPでは、「Combined Task Force (CTF) 150 established near the beginning of Operation Enduring Freedom,」とされている。

CTF - 150 は、連合海上構成部隊(Combined Forces Maritime Component Command：現在は Combined Maritime Forces [CMF] と呼ばれている)司令官の指揮下にあるが、CMF 司令官は米中央軍海軍及び米第5艦隊司令官が兼務している。

CMF は、指揮下にCTF - 150 の他、CTF - 152（注1）や、CTF - 158（注2）といった多国籍部隊を配しており、後者2つの部隊はOEF - MIOのみならずOIFの海上作戦を担当しているが、CTF - 150 はOEF - MIOのみを任務としている。

CTF - 150 の活動地域としては、アデン湾、オマーン湾、アラビア海、紅海及びインド洋である。

現在参加している国は、米国、英国、フランス、ドイツ、パキスタンであるが、過去にはオランダ、イタリア、カナダ等が参加していた。なお、2007年8月以降パキスタン海軍のハシャーム准将が司令官を務めている。

（注1）CTF - 152 は、ペルシャ湾中部及び南部において、「不朽の自由作戦」及び「イラクの自由作戦」の支援を行っている。

（注2）CTF - 158 は、ペルシャ湾北部において、主にイラクの石油ターミナル周辺の治安維持の任務を行っている。

（出典：米海軍HP及び英海軍HP）